

弓削高等学校

<https://ehm-yuge-h.esnet.ed.jp/>

ふれあい学習会

12月9日(木)に、ふれあい学習会が行われました。「差別をなくする最終ランナーに」というテーマで、上島町教育委員会の八木春樹先生に講演をしていただきました。人権の歴史についての学習や、グループワークを通して、正しく知ることの大切さを感じました。差別をなくする最終ランナーになるために自分にできることは、まず、この学習会で学んだことを家族や友達に正しく伝えていくことだという感想を持った生徒が多かったです。



サイクリング体験学習

12月10日(金)にサイクリング体験学習を行いました。商業科目の授業の一環としてゆめしま海道から、大三島にある道の駅多々羅しまなみ公園までをクロスバイクを利用して走ってきました。生徒たちは、長距離を自転車で走るの初めての経験でした。この日の実習までにプロライダーによるガイド講習や道路交通法を授業で学習しました。今回は、上島町産業振興課の手厚いご支援をいただき、学んだことを実践するよい機会となりました。



かみゆげ小さな文化祭

12月12日(日)に弓削老人福祉センターで行われた文化祭で、音楽部が演奏をさせていただきました。クリスマスソングなどをお届けしました。最後の1曲は大人ブラバンの方にも一緒に演奏していただき、とても楽しく演奏することができました。



島親募集！

チームで休日に食事等の面倒を見ていただける皆さまを募集します

連絡先 ☎ 77-2021
弓削高校 教頭 渡邊

チーム

弓削商船高等専門学校

<https://www.yuge.ac.jp/>

男子バスケット部

全国高専体育大会で準優勝！

新型コロナウイルスの影響で延期されていた第56回全国高専体育大会が11月20日(土)、21日(日)宮城県白石市で開催されました。

男子バスケットボール部が、2度目の全国大会出場にして全国2位という躍進を成し遂げました。また、女子バスケットボール部も全国5位という健闘ぶりです。



強豪・長岡高専との決勝戦は、両者とも一歩も譲らぬシー

ソーゲームの末、79-81の惜敗でした。最後の0.1秒までチーム全員が「勝利」を諦めない姿に、会場全員が魅了されていました。

全国高専デザコンで呉市長賞



12月4日(土)、呉工業高等専門学校にて第18回全国高等専門学校デザインコンペティション2021in呉が開催され、本校からは「AMデザイン部門」へ電子機械工学科5年生3名が参加しました。

本年度の「AMデザイン部門」

には、全国の高専16チームがエントリーし、予選(書類審査)を通過した本校を含む8チームが本戦に出場しました。

本校は巣ごもりにより、家でトレーニング(家トレ)をする人が増加していることに着目し、家トレのついでに発電する機器「家トレ発電装置」を、3Dプリンターを駆使して開発し「呉市長賞」を受賞することができました。

◆NEW！電子機械工学科の紹介動画



弓削商船紹介YouTubeぜひ見てね

島おこし協力隊活動報告

島おこし協力隊(地域おこし協力隊)の任期は、最長で3年です。私は令和2年4月より勤務していますので、今年4月からは最終年度の1年間が始まります。2年前、協力隊として業務を開始するにあたって私は、任期中にやってみたいことをリストにしました。プロジェクトは、「移住促進」をミッションとする協力隊としてのものと、任期後も上島町に住み続けるための生業づくりに関するものに大別できます。前者のうち主要なものは次の2つです。まず、町内の家屋全戸を対象とした空き家調査です。これについては、本誌11月号でご報告させていただきました。

次に、行政の移住促進施策を民間の立場から補完し、あるいは多

任期の3年目に向けて

元的に活性化させていくことを目的とした組織の設立です。こちらについては、活動の方向性などについて協議を1年以上にわたって積み重ねた結果、特定非営利活動法人かみじま町空き家よくし隊として設立するに至りました。

これまでの活動期間は、コロナ禍とともにありました。そのため、セミナーやイベントをリアルで開催できず、祭りなどの地域行事にも参加できませんでした。ただその分、書類作成などデスクワークの時間を多く確保でき、地域行事への参加はこれからの楽しみとなっています。コロナ禍は、ようやく落ち着きをみせています。12月には東京で、協力隊として初めての対面式による移住セミナーに参加させていただきました。

最終年度が始まる4月より、任期終了後の生業として予定しているゲストハウスの開業準備を本格的に始めたいと思っています。これまでの協力隊任期中には、決して短くはないはずの人生で初めて経験する事柄がたくさんありましたが、起業も私にとって初めてのチャレンジです。来年度も皆さまにはこれまでの2年間と変わらぬご指導・ご助力をお願いさせていただければ、と思っています。



島おこし協力隊 平田浩司

島おこし協力隊活動報告(公営塾)

こんにちは！ゆめしま未来塾の田中です。今回、お話を聞かせてもらったのは、慶應大学総合政策部への進学が決まった3年生の山田彩乃さんです。



-本日はよろしくお願いします！早速ですが、山田さんは普段塾でどのようなことをしていますか？

山：最近は、大学に入学してから必要になる数学と英語をメインに勉強しています。受験期は、毎日のように志望理由書や面接の練習を行っていました。

-総合型選抜という、志望する大学が求める学生像に「自分こそマッチしています！」と、志望理由書や面接等でアピールする入試方式で合格されましたが、どんな取り組みを塾でしていましたか？

山：主に志望理由書を書き、学校や塾の先

「ゆめしま未来塾」

生をはじめとして多くの方に添削していただきました。大学進学を目指した当初は、周りからは厳しいといわれていましたが、塾の先生達は最初から合格を信じてくれていました。塾がなかったら、大学進学は実現できなかったと思います。

-合格したいという強い気持ちがあったの取り組みだったんですね。少し立ち返る形になりますが、どうして慶應大学に入学したいと考えたのですか？

山：これまでに上島町で小学生の子ども達に向けて、イベント企画や運営を行ってきました。しかし、活動の継続性や子ども達が抱える不安やストレスの根本的な原因の追求ができていないという課題が見つかりました。その課題を解決するため、特定の学問分野に絞られない総合的な知識・ノウハウと、実践に基づいた高い能力・スキルを身につける必要があると考えました。その中で見つけた理想的な大学が慶應大学総合政策学部でした。

-具体的には、大学に入ったら何を学ぼうとされているのですか？

山：教育学、心理学、社会学を学びたいと

特別インタビュー

考えています。学んだことを将来的に、多くの子ども達が生きづらさを解消できるような、居場所や空間づくりに活かしたいと考えています。

-最後に、今後ゆめしま未来塾に入塾する生徒に一言お願いします！

山：一言(笑)塾は生徒によってニーズが合う合わないはあると思います。でも、不満をいうよりも現状を変えようとして、行動すると必ず塾の先生は、助けてくれると思います。

-自分の人生をよくするために行動し続ける。そんな山田さんの周りには、いつも人が集まっている気がします。今後も自分の将来に向かって邁進してくれることを我々は祈っております！



ゆめしま未来塾 田中 慎太郎